

2018年7月3日

## ICTを活用し水産養殖の持続可能な発展に取り組むベンチャー企業 「ウミトロン」への出資について

- ・魚群解析システムの開発により、生産コストと労働力不足に対応
- ・生簀データと衛星データを活用し、餌の量とタイミングを最適化
- ・海洋環境のモニタリングと生産性向上により水産養殖の持続可能な発展に貢献

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、UMITRON PTE.LTD.（本社：シンガポール、代表者：山田雅彦、以下「ウミトロン」）に対し、同社の新たな事業展開を推進するための資金として、8億円を上限とする出資を行うことを決定し、このほど出資を完了しました。

ウミトロンは2016年に設立されたベンチャー企業で、生簀に設置したセンサーからのデータや衛星による地球観測データなどを解析し、最適な給餌量やタイミングに関する情報を水産養殖業者に提供するとともに、赤潮等の環境変化の早期発見、早期対処を行うことで、水産養殖における大幅な生産性の向上を目指しています。

世界の人口増加や新興国での健康ブームを背景に、良質なタンパク源として、水産資源の需要が世界的に高まっています。特に、天然資源には限界があることから養殖生産量が急激に拡大し、2015年には漁獲量において養殖が天然を上回っています。さらに、近年では海外からの養殖水産物への需要の高まりから、輸出も増加しています。ところが、水産養殖業においては、商品としての魚の価格変動とともに、餌代の高騰、労働力不足、赤潮の発生が事業運営上の大きな課題となっています。

ウミトロンは、まず魚群解析システムを開発し、その普及のための実証実験に取り組んでいます。従来の給餌では、手やり給餌やタイマー式給餌器を活用していますが、いずれも労働力や無駄餌発生観点から課題がありました。ウミトロンが開発した魚群解析システムでは、生簀に設けたセンサーによって、魚群行動をモニタリングし、給餌のリモートコントロールが可能となります。さらに、衛星からの地球観測データを活用することで、海表面温度や植物性プランクトンの分布を把握し、事前に赤潮等の環境変化の発生を予測し、生簀からのローカルデータと組み合わせることで、被害を未然に防ぐことも可能となります。

ウミトロンでは、魚群解析システムの普及により、今後より多くのローカルデータを入手し、将来的には、衛星からの地球観測データと生簀からの魚群行動データ、生育データ等を蓄積・解析し、高品質の魚を養殖するなど魚の付加価値を最大化するための革新的な水産養殖プラットフォームの構築を目指します。

INCJは、ウミトロンの取り組みは、水産養殖業界における社会的課題を解決するとともに、地方創生への貢献等も期待できることから、今回の出資を決定致しました。INCJは、資金支援に加え、社外取締役派遣など経営にも参画し、事業の支援を行っていきます。

#### UMITRON PTE. LTD. について

設立 : 2016年4月  
所在地 : シンガポール  
代表者 : 山田 雅彦  
事業内容 : 水産養殖向けデータサービスの提供

#### ウミトロン株式会社 について (日本法人)

設立 : 2016年10月  
所在地 : 東京都港区  
代表者 : 藤原 謙

#### 株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井  
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階  
電話 : 03-5218-7202 URL : <http://www.incj.co.jp/>

別紙

## 新規支援決定案件の概要

### 1. 対象事業者

- ・ 事業者名 : UMITRON PTE.LTD. (日本法人：ウミトロン株式会社)
- ・ 設立 : 2016年4月
- ・ 所在地 : シンガポール
- ・ 代表者 : 山田 雅彦
- ・ 事業内容 : 水産養殖向けデータサービスの提供

### 2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額 : 8億円(上限)
- ・ 実投資額 : 8億円
- ・ 共同投資家 : D4V (Design for Ventures) 他
- ・ 株式保有割合 : 非公開
- ・ 投資ストラクチャー図 : 別添

### 3. 投資意義

#### <社会ニーズへの対応>

- ・ 世界的な人口増、食料不足を背景に、タンパク質源生成としての水産養殖の重要度が向上。
- ・ 遠隔操作可能な給餌管理システムにより、餌代高騰、労働力不足等の社会問題解決に貢献。
- ・ 衛星データと生簀からのローカルデータを活用し、赤潮発生等の予測など環境問題にも対応。

#### <成長性>

- ・ 海外からの養殖水産物への需要が高まっており、ブリ類・真鯛の輸出が増加している。
- ・ 水産養殖生産の成長に伴い、飼料原料価格の高騰や人員不足等の課題解決に対する需要が顕在化している。
- ・ 水産養殖業のIoT化、データビジネス化は、生産効率、高品質にも貢献し、世界の水産養殖業の持続的発展にも貢献できる。

#### <革新性>

- ・ コンピュータサイエンス、宇宙工学、海洋学、栄養学、バイオインフォマティクスの分野から、衛星開発、クラウド、Webアプリ開発など幅広い経験を持った人材が、水産養殖プラットフォーム事業の開発に集結。

投資対象：UMITRON PTE. LTD.

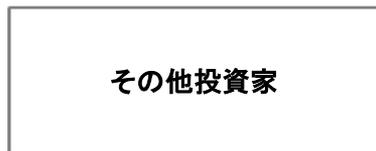
事業内容：水産養殖のIoT給餌システムの開発・サービス提供

支援決定金額：8億円(上限)

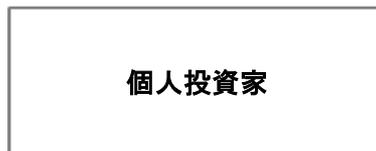
支援決定公表日：2018年7月3日



出資・経営  
サポート



出資・経営  
サポート



出資

## umitron.

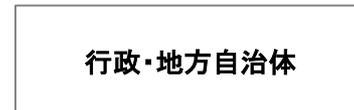
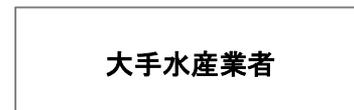
持続可能な水産養殖を地球に実装する

- 水産養殖にIoT、衛星リモートセンシング、AIの技術を用い、将来人類が直面する食料問題と環境問題の解決に取り組むスタートアップ企業
- IoT給餌管理システム (UmiGarden®) による魚群データ解析を用いて、給餌コストを最適化するサービスを提供



サービス提供

連携・協業



- 水産養殖における餌代高騰、過剰給餌による環境汚染、国内の労働者不足・高齢化といった、社会課題をIoT・AI・衛星関連技術・衛星データ等のテクノロジーにより解決
- 水産養殖の生産性向上、生産者の労働環境・所得向上により、本邦水産養殖産業の強化及び地方創生に貢献
- 国内外で産業界の枠組みを超えた連携を通じ、世界中の養殖ノウハウを集積。日本発、グローバル展開するスタートアップ企業を創出